

第4章

施策の推進に当たって

施策の推進に当たって

県民の意見の反映

県民一人ひとりと認識を共有するとともに、県政に対する様々な意見を踏まえながら、施策・事業を展開していくことが重要であることから、課題や取組、今後の施策の方向性等について、様々な媒体を活用しながら分かりやすく発信することにより、県民の県政への関心を高めつつ、理解と参画を促進します。

また、知事と県民の意見交換会等により県政に対するニーズを的確に把握するほか、秋田県総合政策審議会をはじめとした各審議会等における専門的な立場からの意見を踏まえ、実効性のある施策・事業を推進していきます。

成果の追求

(1) マーケティング手法の活用

マーケティング手法を活用し、県民等の視点によるニーズを把握しながら、ターゲットの設定等を的確に行い、狙いの明確化と手段の最適化を図ることで、施策の解像度と精度を高め、確かな成果につなげていきます。

(2) DXの推進

施策の取組における質の向上や行政事務の効率化等を図るため、生成AIなどの新技術をはじめデジタル技術を積極的に活用し、成果の最大化につなげていきます。

(3) 県民満足度の向上

県民意識調査等により満足度を可視化し、その結果を県民本位の施策・事業に展開することで、県政運営の究極の目的である県民一人ひとりの幸福の実現を図っていきます。

政策評価制度による進行管理

(1) PDCAサイクルの実施

PDCAサイクルを効果的に活用し、多角的な分析・評価を実施することで、数値目標の達成状況や評価結果から明らかとなった課題等を整理するとともに、解決に向けた対応方針を検討し、次年度以降の取組に適切に反映しながら、施策・事業を進めていきます。

(2) 評価結果の県民への公表

行政の透明性の確保に向け、評価結果については、外部評価委員の審議を経た上で県議会に報告するとともに、県公式ウェブサイトへの掲載など様々な媒体を活用して、県民に分かりやすい形で公表していきます。